

# 昇龍の夢

(平成九年度寮歌)

長谷川健君 作歌  
石井英一君 作曲

流転行路に我仰ぎ見る  
もいろぞら　りゆう  
桃色空に龍の雲  
われしよりゆう　ゆめ  
我昇龍の夢に入る……

霞こめ雄き林を抜け出でて  
かすみ　たけ　はやし　ぬ  
辿り着きし我がふるさとの  
たど　つ　わ  
垣根は山河陽はおちて  
かきね　さんが　ひ  
大いなる水海に月映ゆる  
おお　うみ　つきは  
ふるきよき力強きふるさとに  
ちからつよ  
はぐくまれし嗚呼我は  
ふえ　おも　あ　あわれ  
不壊の哲い引き提げて  
りゆう　のほ　さ  
龍のごとくに昇りゆく  
りゆう

しかれどもいつしか其れも身を移し  
むかし　しの　わ　れ  
昔を偲ぶ此の我に  
とき　なが　かん  
時の流れを感じつつ  
いま　み　わた  
今あたりを見渡せば  
あた　せ　かい　ひろ　あた　ら  
新しき世界の広がり新しき  
もの　ここに　見て　我　想　う  
かれ　おも　ひ　さ  
「彼の哲い引き提げて  
わ　か　ち　から　の　ほ  
若き力で昇りゆけ」  
ふと仰ぎ見る　紅　空　に  
り　ゆう　く　も　か　た　な　が  
龍の雲は形くずし流れゆく